

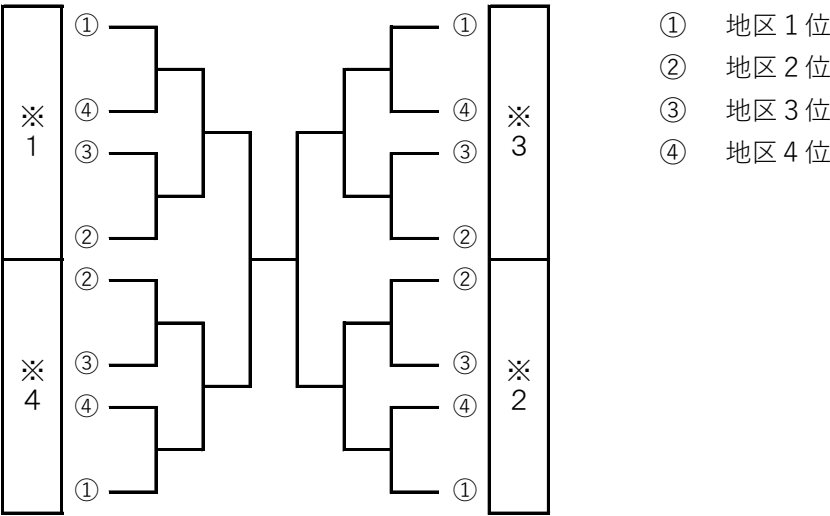
県大会組合せの基本原則

1 学校対抗

(1) シード対象大会

新人県大会 → 総体県大会 → 新人県大会

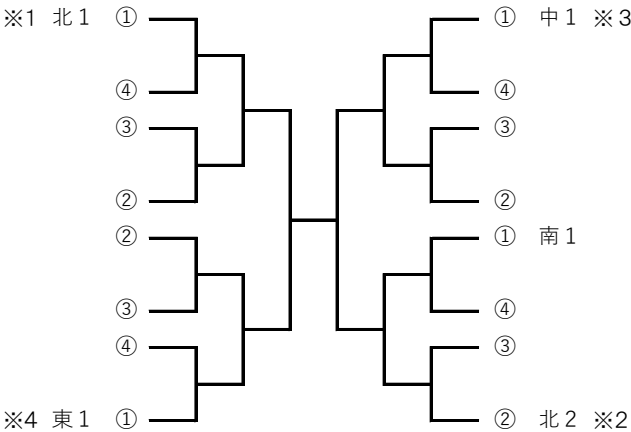
(2) 組合せ手順



- 1. 前大会のベスト4をシード（※1～※4）とし、ランキング順に※1～※4のブロックの配置する。（ブロック内①～④の位置はシードにより変動する）
- 2. シードを持たない地区の1位校を抽選により配置する。
- 3. 以降同様に2位，3位，4位・・・8位校を地区ランキング順に抽選により配置する。（同地区1位校と2位校が左右に分かれない場合もある）

[例1]

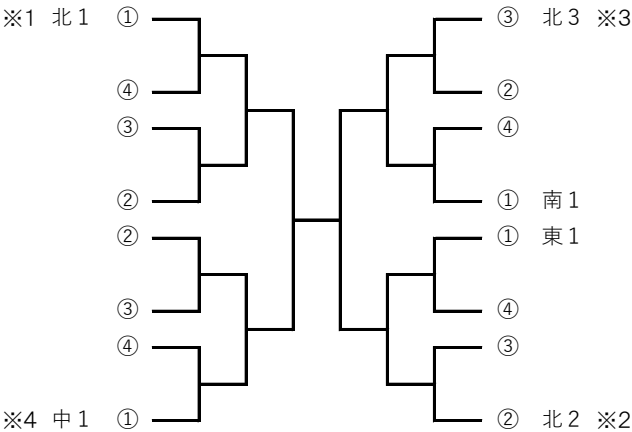
前大会	1位	2位	3位	4位
	北	北	中	東



南1位は自動的に配置
2位校以降は北→中→東→南の順に抽選
(地区ランキング順に抽選)

[例2]

前大会	1位	2位	3位	4位
	北	北	北	中



東1と南1を抽選により配置
2位校以降は北→中→東→南の順に抽選
(地区ランキング順に抽選)

2 ダブルス

(1) 組合せ手順

1. 地区大会優勝ペアの2人のシングルス（県ジュニア・国スポ県・地区）保有ポイント（以下、保有ポイント）のランキング順に第1～4シードに配置する。
2. 地区2位ペアは優勝ペアとは反対側のブロックに配置する。なお、保有ポイントの高いペアを自動的にシード順位の低い側に配置される。
3. 地区3位以下のペアについては学校バランスを配慮し、地区順位（3-4位,5-8位,9-12位）の範囲で保有ポイントによりシードを決める。同ポイントの場合は抽選により配置する。
4. 1回戦での同校対戦を避ける。

(2) シード対象大会

保有ポイント順にシードを行うため、シードを廃止する。

3 シングルス

(1) シード対象大会

中部日本(ジュニアの部)県予選 → 全日本(ジュニアの部)県予選 → 新人県大会 →
県ジュニア卓球選手権 → 国スポ県予選 → 総体県大会

(2) 組合せ手順

1. 地区予選のポイントおよび前2大会の県大会のポイントの合計得点により順位をつける。
（例：新人県大会の場合 新人地区大会 + 全日本(ジュニアの部)県予選 + 中部日本(ジュニアの部)県予選）
2. 地区予選のポイント
1位：13点 2位：10点 B4：7点 B8：4点 B16：1点
3. 県大会のポイント
1位：24点 2位：20点 B4：16点 B8：12点 B16：8点 B32：4点
4. ポイントをもとに学校バランスを配慮しながら配置する。1回戦での同地区対戦を避ける。
5. シード対象大会に出場していない選手については専門委員会での協議の上ポイントを与える場合がある。